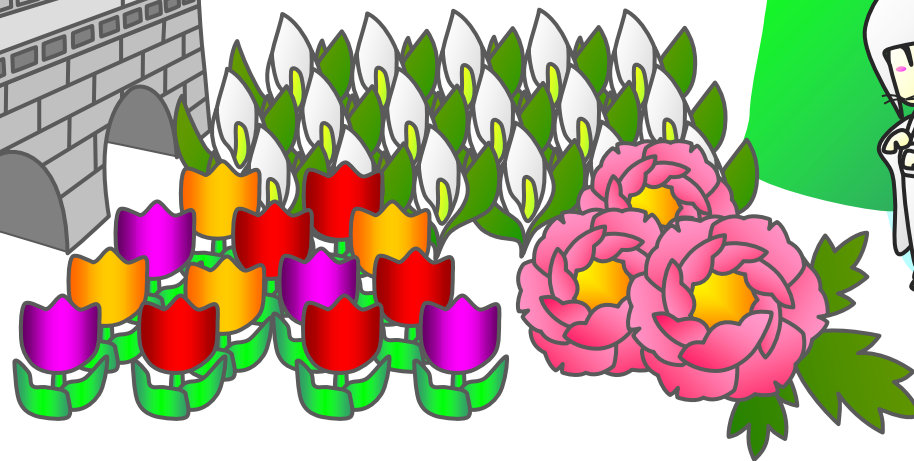
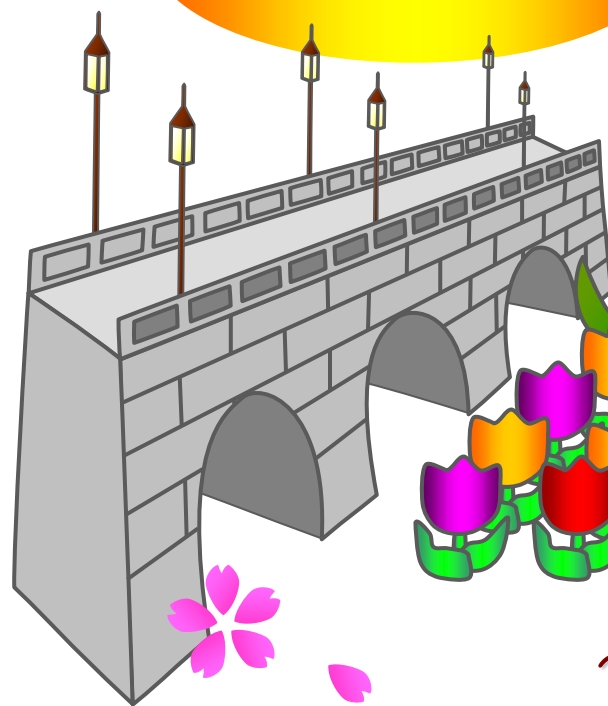


# 新潟地域振興局の概要

新潟市

阿賀町

五泉市



～日本海から会津へ～

令和8年度  
企画振興部

# 目 次

・地域振興関連の管内図	.....	P 1
・組織別の所管区域	.....	P 2
・主要指標	.....	P 3
・人口	.....	P 4, 5
・産業	.....	P 6, 7
・所得	.....	P 8
・観光	.....	P 9, 10, 11

## 【参考】

・地域振興事業のフレーム	.....	P 12
・地域振興事業の実例	.....	P 13, 14
・危機管理	.....	P 15, 16



# 組織別の所管区域

令和8年4月1日 現在

新潟地域振興局		新潟市								五泉市	阿賀町	備考
		北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区 旧白根市 旧味方村 旧月潟村	西区	西蒲区			
企画振興部	地域振興	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	広域的な調整業務は、三条・佐渡地域振興局内も所管
県税部		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	課税関係業務は、三条・佐渡地域振興局内も所管
	新津収税課					○					○	
	三条収税課											三条地域振興局内を所管
	佐渡収税課											佐渡地域振興局内を所管
健康福祉部										○	○	環境関係(鳥獣、温泉及び浄化槽を除く。)業務は、新発田地域振興局が所管
農林振興部	農業振興	○	○	○	○	○	○			○	○	
	農村振興		○	○	○	○	○			○	○	亀田郷、白根郷(加茂市の一部を含む。)を所管 北区は、新発田地域振興局が所管
	森林・林業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	他 胎内市、新発田市、阿賀野市、聖籠町
地域整備部	道路・街路											新潟市が所管
	都市公園	○		○								鳥屋野潟公園(中央区)、県立島見緑地(北区)
	河川・海岸	○	○	○	○		○	○	○			
	建築関係	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建築関係業務は、新潟市(建築確認等一部業務を除く。)、五泉市、阿賀町を所管
巻農業振興部	農業振興									○	○	
	農村振興									○	○	他 燕市、弥彦村
新津地域整備部	道路・街路									○		秋葉区は新潟市が所管
	都市公園					○						県立植物園
	河川					○				○		
	ダム									○		早出川ダム
津川地区振興事務所	道路・河川・街路 農村振興 森林・林業										○	
新潟港湾事務所		○	○	○								新潟港(北蒲原郡を含む。)
	東港分所	○										東港区南浜地区西端以東の区域(北蒲原郡を含む。)

# 主要指標

人口及び総生産額は、管内(2市1町)で県全体の3割強を占める。

項目	出典資料 (時 点)	県 計	管 内						
			管内計	割合(%)	新潟市	割合(%)	五泉市	阿賀町	
土地	総面積 (km <sup>2</sup> )	R7新潟県統計年鑑 (R7.10.1)	12,583.80	2030.81	16.1	726.01	5.8	351.91	952.89
	耕地〔田・畑〕面積 (ha)	R6作物統計調査 (R6.7.15)	166,500	38,830	23.3	32,700	19.6	5,090	1,040
人口	総人口 (人)	新潟県推計人口 (R7.10.1)	2,071,066	811,862	39.2	760,085	36.7	43,477	8,300
	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	〃	164.6	399.8	—	1046.9	—	123.5	8.7
	世帯数 (世帯)	新潟県推計人口 (R7.9.30)	921,711	376,109	40.8	352,986	38.3	19,012	4,111
	世帯人員 (人/世帯)	新潟県推計人口 (R7.10.1)	2.2	2.2	—	2.2	—	2.3	2
	65歳以上人口の割合 (%)	〃	34.6	31.6	—	31.1	—	38.3	53
産業	名目総生産額 (億円)	R7新潟県統計年鑑 (R4)	90,429	34,468	38.1	32,350	35.8	1,724	394
	就業者 (人)	新潟県勢要覧2026 (R2.10.1)	1,136,258	431,470	38.0	402,267	35.4	24,704	4,499
所得	1人当たり所得 (千円)	R7新潟県統計年鑑 (R4)	2,936	—	—	3,059	—	2,740	2,355
観光	入込客 (人)	新潟県観光 入込客統計 (R6)	63,363,172	17,557,638	27.7	16,018,815	25.3	831,395	707,428

# 人口（総人口）

## ■総人口

人口は2,071,066人（新潟県推計人口R7.10.1現在）で、（新潟県推計人口R6.10.1現在）と比べ27,738人減少（減少率1.3%）

### 【新潟市】

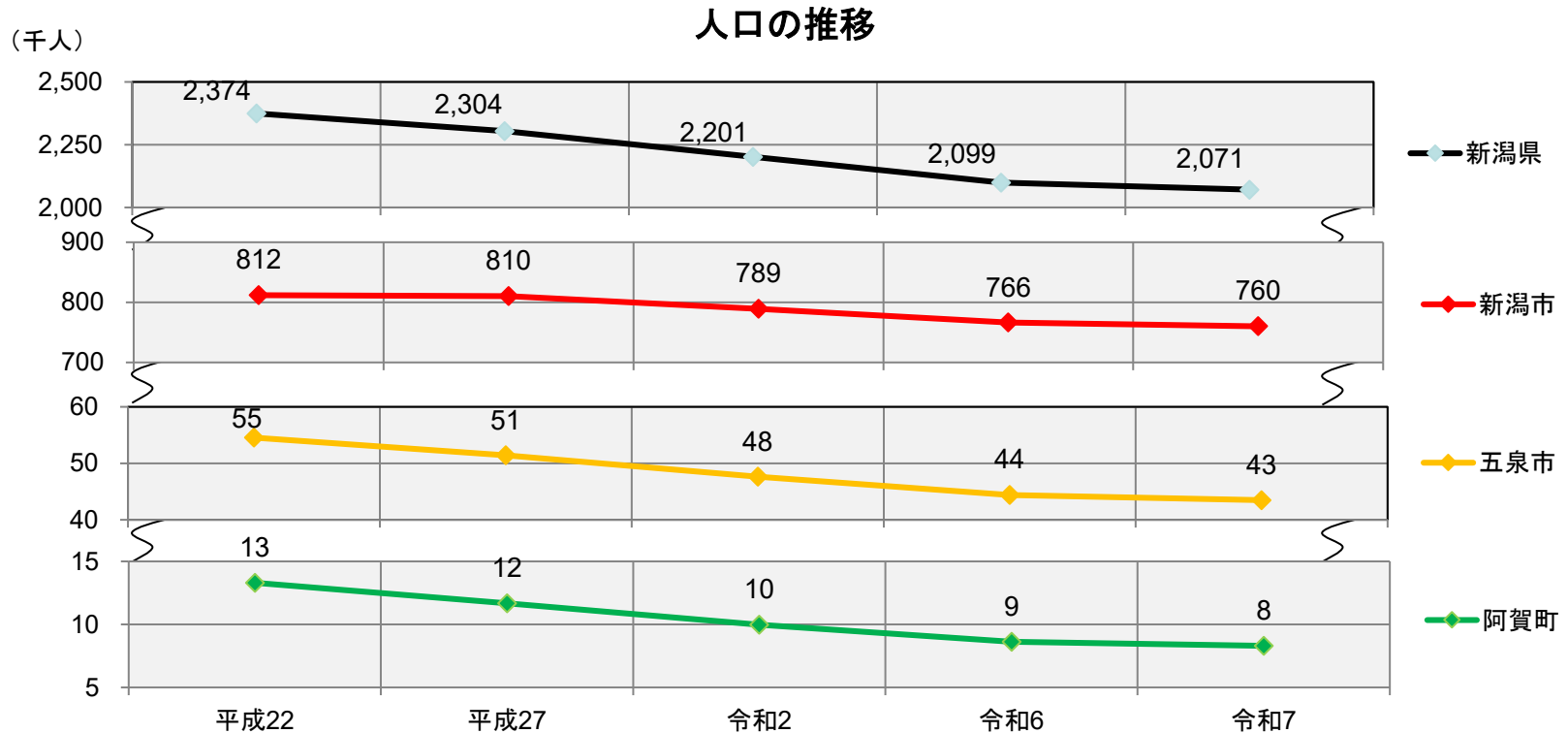
平成17年度に3市5町5村と合併。人口は760,085人で県全体の36.7%。前回と比べ6,174人減少（減少率0.8%）

### 【五泉市】

平成18年1月1日に村松町と合併。人口は43,477人で県全体の2.1%。前回と比べ925人減少（減少率2.1%）

### 【阿賀町】

平成17年4月1日に2町2村が合併し阿賀町が誕生。人口は8,300人で県全体の0.4%。前回と比べ328人減少（減少率3.8%）



# 人口（年齢別人口）

## ■ 年齢別の人口

65歳以上の高齢者割合（新潟県推計人口R7.10.1現在）は県平均が34.6%。R6(34.3%)から0.3ポイント上昇。

### 【新潟市】

65歳以上の割合は県平均を下回る31.1%。R6(31.0%)から0.1ポイント上昇。

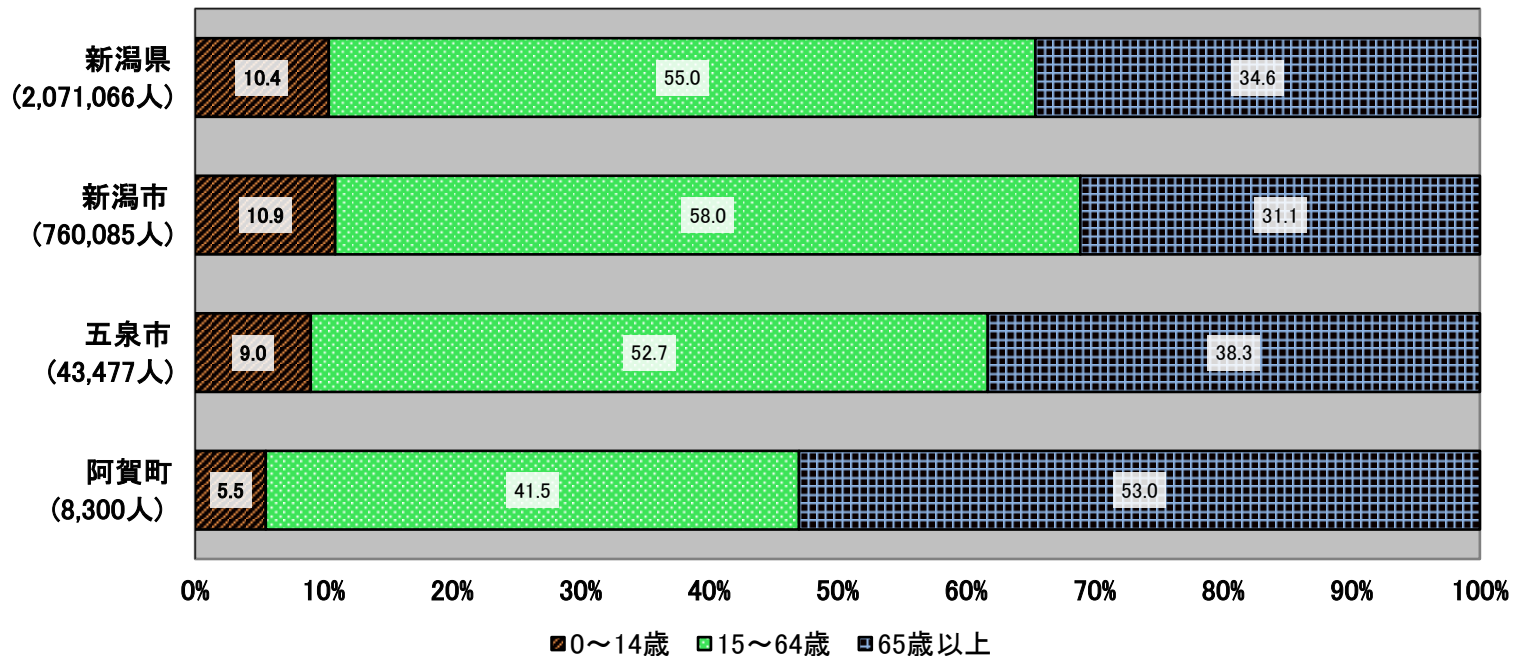
### 【五泉市】

65歳以上の割合は県平均を上回る38.3%。R6(37.8%)から0.5ポイント上昇。

### 【阿賀町】

65歳以上の割合は県平均を大きく上回る53.0%。R6(52.5%)から0.5ポイント上昇。

年齢別人口比



# 産業（総生産額）

## ■産業別の総生産額

県全体の名目総生産額(R4年度)は9兆429億円(消費税、帰属利子を差引く前の額)で、前年度比0.4%増加。

### 【新潟市】

生産額は3兆2,350億円で県全体の35.8%。前年度比1.2%増加。

産業別では第3次産業が2兆5,674億円(79.4%)と最も高い。

### 【五泉市】

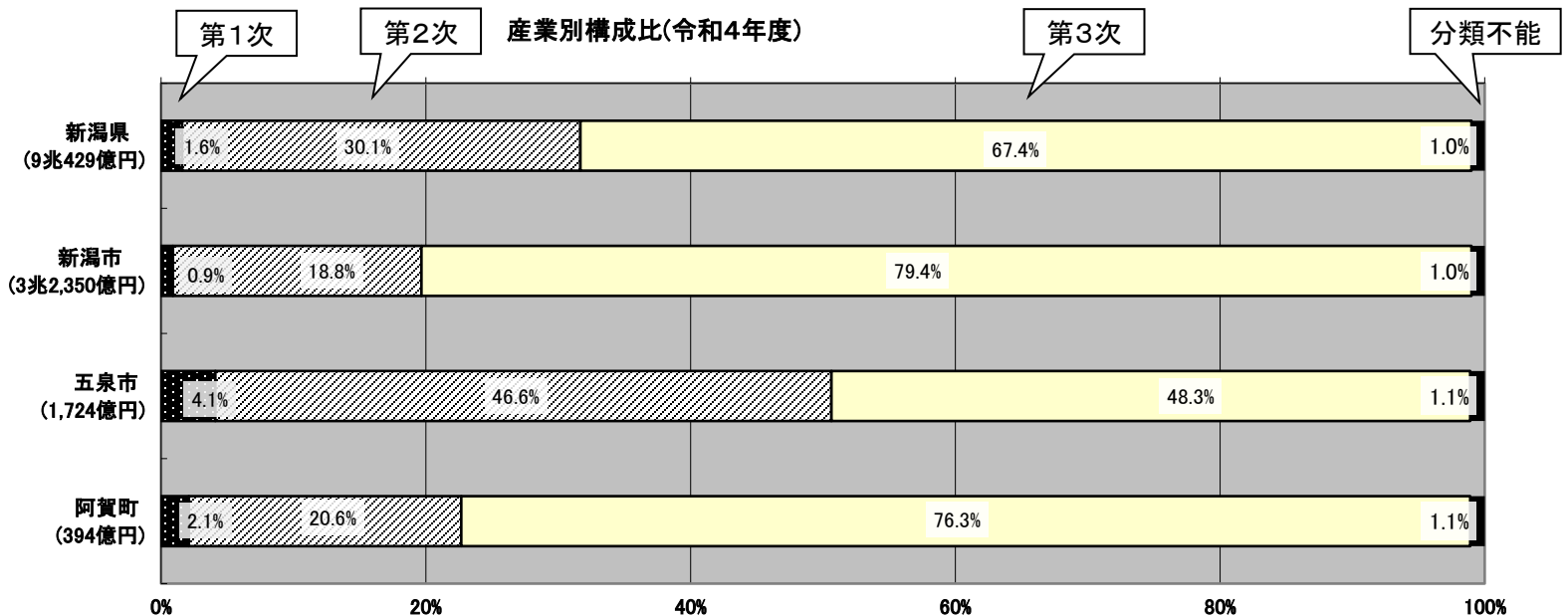
生産額は1,724億円で県全体の1.9%。前年度比2.4%減少。

産業別では第3次産業が833億円(48.3%)と最も高く、これに次ぐ第2次産業も803億円(46.6%)と高い割合となっている。

### 【阿賀町】

生産額は394億円で県全体の0.4%。前年度比8.5%増加。

産業別では第3次産業が300億円(76.3%)と最も高い。



# 産業（就業者）

## ■産業別の就業者数

就業者数は1,136,258人（令和2年国勢調査に関する不詳補完結果（参考表））。

### 【新潟市】

就業者数は402,267人で県全体の35.4%。

産業別では第3次産業が303,076人（75.3%）と最も多い。

### 【五泉市】

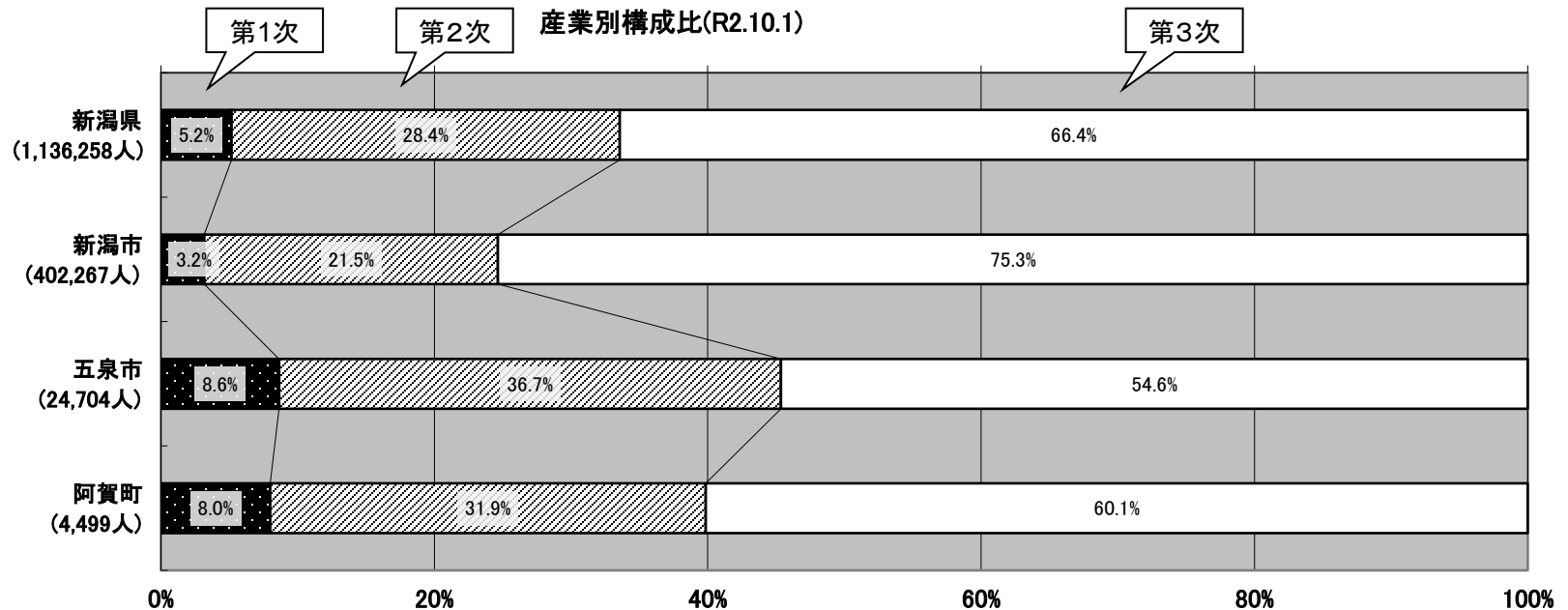
就業者数は24,704人で県全体の2.2%。

産業別では第3次産業が13,497人（54.6%）と最も多い。

### 【阿賀町】

就業者数は4,499人で県全体の0.4%。

産業別では第3次産業が2,706人（60.1%）と最も多い。



# 所得

## ■ 1人当たり市町村民所得

1人当たりの平均額は2,936千円(R4年度)。

### 【新潟市】

3,059千円で、県平均額を123千円上回る。

### 【五泉市】

2,740千円で、県平均額を196千円下回る。

### 【阿賀町】

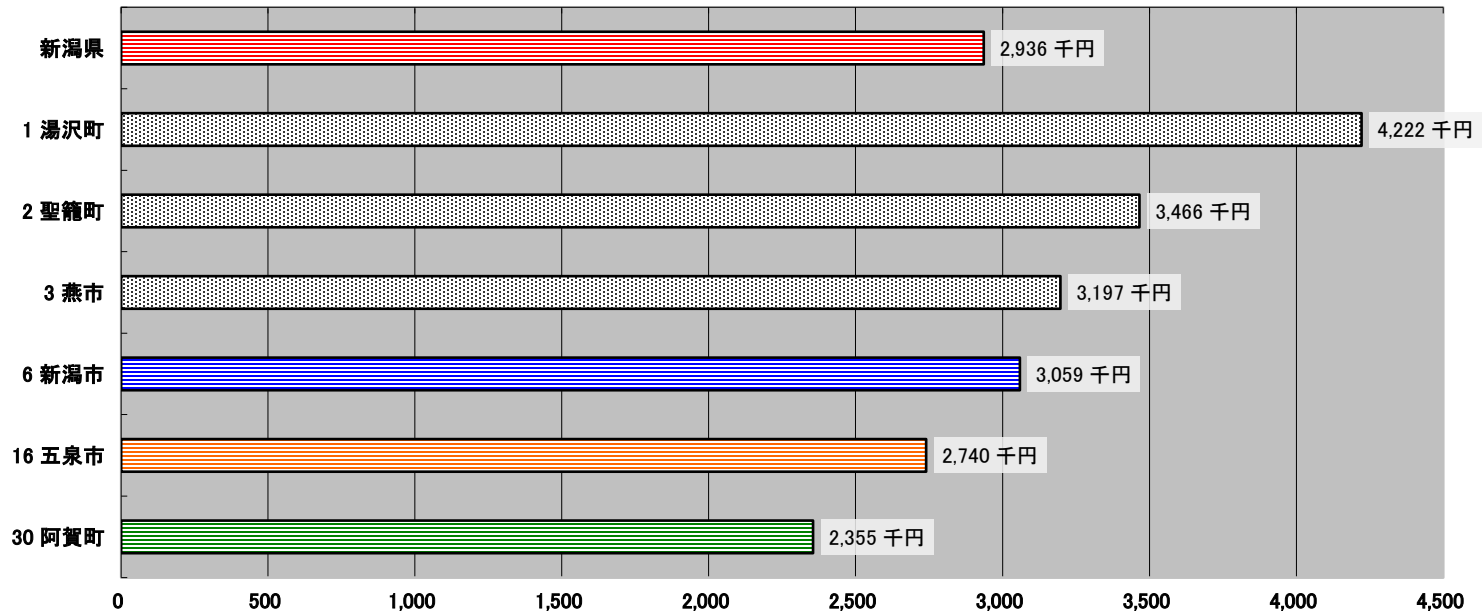
2,355千円で、県平均額を581千円下回る。

「1人当たり市町村民所得」は、雇用者報酬のほか、財産所得や企業所得など市町村の居住者（家計・企業など）が得た所得の合計を、市町村の総人口で割ったものである。

したがって、個人の給与や所得の水準を表すものではなく、企業の利潤などを含む経済全体の水準を表している。

(数字は順位)

市町村民所得(令和4年度)



# 観光（入込客）

## ■入込数

県全体では63,363,172人(R6年)。対前年比+1.5%。

### 【新潟市】

16,018,815人で、県全体の25.3%。対前年比+3.0%。

### 【五泉市】

831,395人で、県全体の1.3%。対前年比+7.2%。

### 【阿賀町】

707,428人で、県全体の1.1%。対前年比+29.3%。

観光庁が定めた共通基準に基づき統計調査を実施。

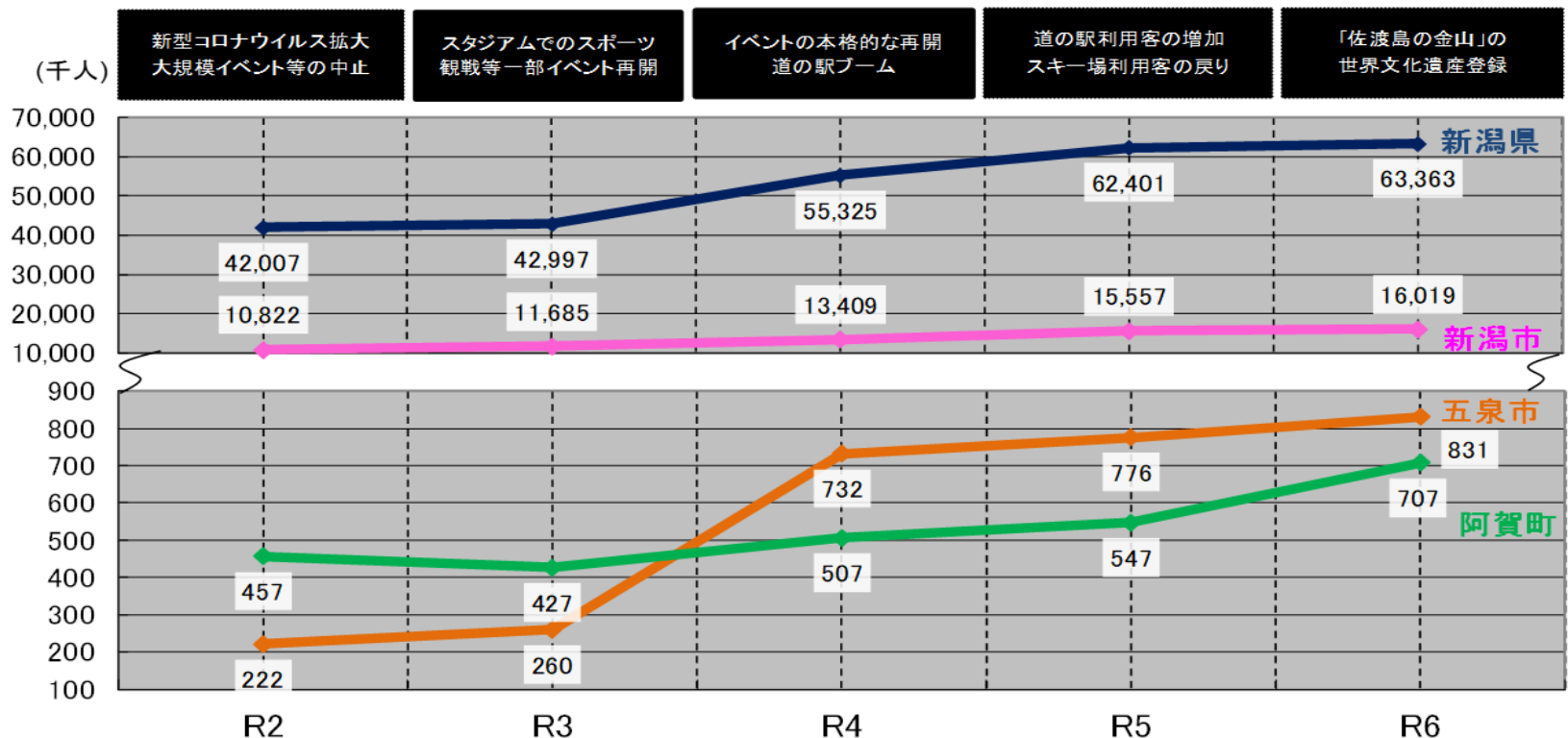
○集計対象の観光地点

次の全てを満たす地点

- ・非日常利用が多いと判断される
- ・観光入込客数が適切に把握できる
- ・前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上

○観光地点等分類 7分類(2大分類、6中分類)

## 入込客の推移



# 観光（月別）

## ■入込数(R6年)

県全体の月別では、8月が9,261,771人(14.6%)と最も多く、次いで10月の5,860,024人(9.2%)。

### 【新潟市】

8月が2,382,324人(14.9%)と最も多く、次いで4月の1,733,631人(10.8%)。

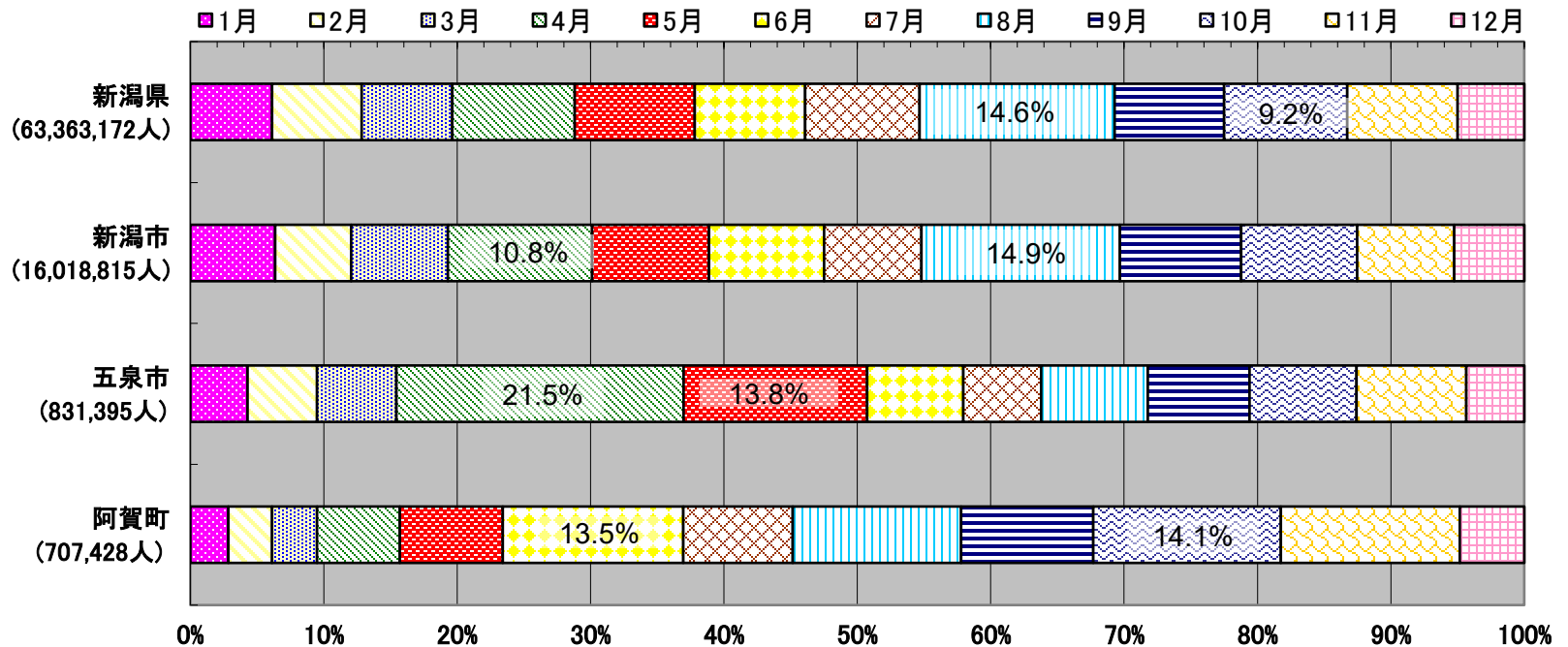
### 【五泉市】

4月が178,926人(21.5%)と最も多く、次いで5月の114,556人(13.8%)。

### 【阿賀町】

10月が99,599人(14.1%)と最も多く、次いで6月の95,794人(13.5%)。

### 月別観光客入込比



# 観光（目的別）

## ■入込数(R6年)

県全体の観光(目的別)は、都市型観光が21,802,058人(34.4%)と最も多く、次いで行祭事・イベントの11,415,563人(18.0%)。

### 【新潟市】

都市型観光が5,071,874人(31.7%)と最も多く、次いで行祭事・イベントの4,590,587人(28.7%)。

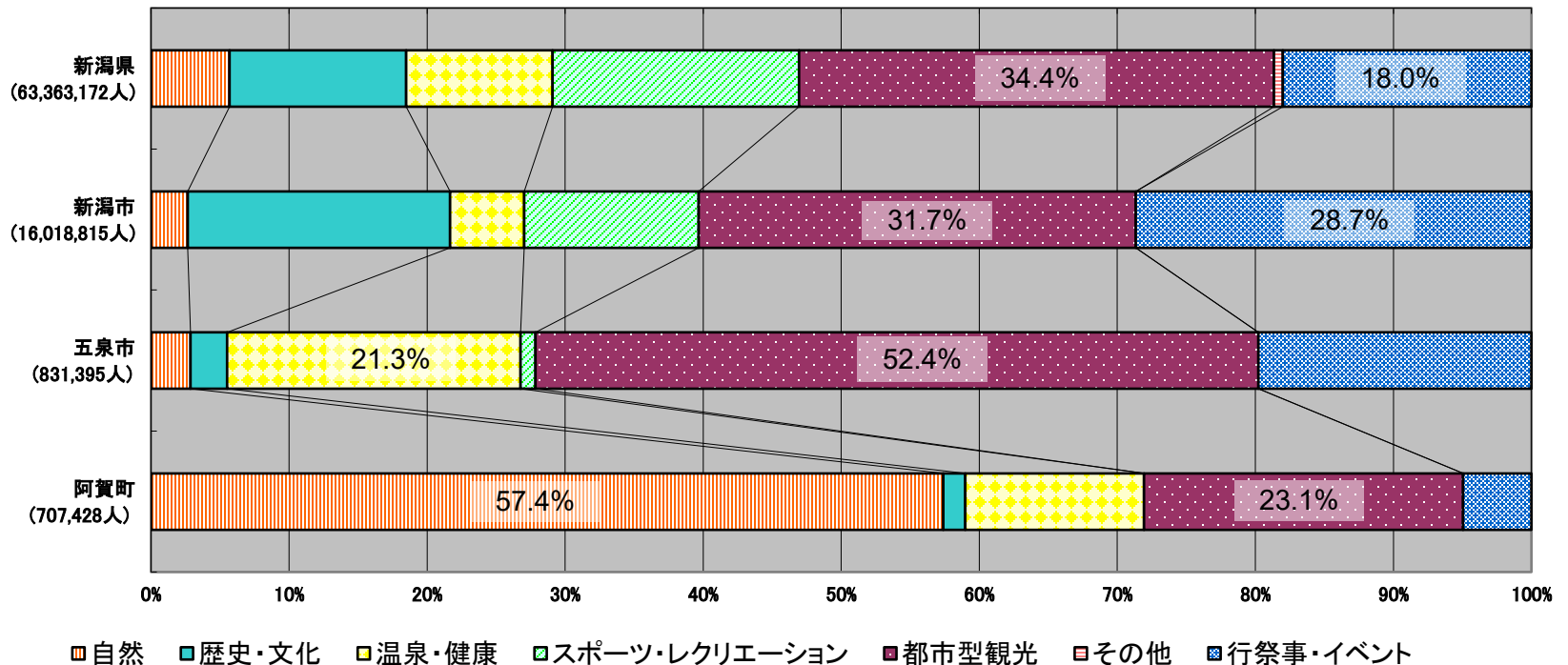
### 【五泉市】

都市型観光が435,290人(52.4%)と最も多く、次いで温泉・健康の176,705人(21.3%)。

### 【阿賀町】

自然が405,983人(57.4%)と最も多く、次いで都市型観光の163,543人(23.1%)。

目的別観光客入込比



# 【参考】R8地域振興事業のフレーム

		ソフト事業		ハード事業	
所 管		地域政策課			
区 分		地域活性化推進事業(ソフト)		地域活性化推進事業(ハード)	
		一般枠	広域枠	一般枠	広域枠
事業対象		地域の課題に柔軟に対応し、地域振興に資するソフト事業	広域振興事業計画に基づき、広域的な視点で実施するソフト事業	地域の実情に機動的に対応し、県の役割として適するハード事業	広域振興事業計画に基づき、広域的な視点で実施するハード事業
事業主体		県、市町村、団体			
事業期間		原則1年とし、継続する場合は概ね3年を目途			
配 分	基 準	定額	広域エリアごとに、振興局数に応じて定額	定額	広域エリアごとに、振興局数に応じて定額
	金 額	150万円	1,000万円 ※ 新潟、三条及び佐渡地域振興局の合計額	1,300万円	6,600万円 ※ 新潟、三条及び佐渡地域振興局の合計額

# 【参考】 R7 地域振興事業の事例

## ■ソフト事業

### ①にいがた・あいづ「ごっつおLIFE」情報発信事業

歴史・文化的つながりのある新潟・会津地域に暮らす「ヒト」に焦点を当て、地域の魅力・ストーリーを掘り起こし、ウェブサイト(ごっつおLIFE)等で発信。

[主な取組]

- 1) 新潟・会津地域に暮らす魅力的な方々への取材を通じ、地域の魅力・ストーリーを掘り起こし、ウェブサイト毎週水曜日に発信
- 2) 認知度向上キャンペーンやユーザー向けイベントを実施し発信力を強化
- 3) 登壇者同士の連携の機会としてマッチング事業を実施

### ②新潟・阿賀地域の地域材ブランディングプロジェクト事業

地域材の需要拡大を図るため、地域材そのものの魅力向上や地域材を使うことによるメリットを工務店向けに発信。

### ③農業における生成AI・デジタルツイン等活用促進事業

AIを活用した新しい農業ビジネスや効率化の可能性を探るため、農業分野における生成AIの基本的な理解を深める実践的な講座を開催するとともに、参加した管内若手農業者同士の交流を促進。

# 【参考】 R7 地域振興事業の事例

## ■ハード事業

### ①中ノ口川親水護岸階段整備事業

新潟市南区白根地内を流れる中ノ口川の堤防上に、白根大凧合戦の観客収容能力と安全な観戦環境を高める観覧席を兼ねた親水護岸階段を整備した。



### ②鳥屋野潟修景施設整備事業

「清五郎開拓八人衆のモニュメント」や「清五郎の一本松」という地域の歴史的にも重要な場所で、鳥屋野潟を一望できる絶景のフォトスポットに設置されているベンチが老朽化したためデザイン更新・改修を行った。



### ③麒麟山公園周辺の河川環境整備事業(R6繰越)

「狐の嫁入り行列」のメイン会場で、清流・常浪川の川遊びスポットでもある麒麟山公園には親水護岸が整備されているが、水辺空間の安全性とアクセスの向上を図るため親水護岸の延長工事を実施した。



# 【参考】危機管理(平時)

## ■平時の対応

① 災害に結びつく情報の収集や伝達

② 危機管理体制の整備・強化

○ 新潟地域危機管理推進会議(構成:管内62所属)

目的:危機管理に関する情報共有や危機意識の醸成等を図る。

R7 :6月10日開催 「被災地における防災士の活動と役割」

○ 初動対応訓練

地震発生時や、鳥インフルエンザ発生時の初動対応の訓練を実施

R7:新潟市一斉地震対応訓練に併せて情報伝達訓練を実施

鳥インフルエンザ、豚熱の防疫対応に関する訓練等を実施



新潟地域危機管理推進会議



鳥インフルエンザ対策訓練

# 【参考】危機管理(災害時)

## ■災害時の対応

### 【初動対応】

- ① 災害等発生一次情報の収集・報告  
管内市町等へ職員の派遣
- ② 発生被害に対する応急対策  
被害者の救出、被害拡大の防止策、避難場所としての施設開放等
- ③ 被害状況の把握と報告  
震度4以上の地震及び、それ以外の災害等の場合は被害発生時
- ④ 対策に向けた組織の設置
  - 新潟地方本部  
地震又は津波、風水害等により大規模な災害が発生、又は発生する恐れがある場合で、各機関が連携して対処することが適当と認められる場合に知事等が設置  
R7:新潟地方本部を設置した災害・危機事案は、なし  
※県内で発生した鳥インフルエンザの防疫対応のため、局職員を派遣(2例)
  - 新潟地域危機管理本部  
管内で広域的、複合的な災害が発生、又はその恐れがある場合で地域振興局として対応が必要と認められる場合に地域振興局長が設置